

定例公安委員会の開催概要

定例公安委員会は、令和3年2月24日（水）に開催されました。

1 決裁事項

- ・ 秋田県公安委員会公文例規程の一部改正について
- ・ 犯罪被害者等給付金に係る裁定案について
- ・ 秋田県公安委員会規則の一部改正（組織関係）について
- ・ 秋田県公安委員会規則の一部改正（高さ制限関係）について
- ・ 警察職員の特別派遣について

2 審議事項

(1) 警察職員の特別派遣について

県警察から、青森県公安委員会から警察職員の援助要求があった旨の報告があった。審議した結果、原案のとおり特別派遣することを了承した。

委員から、『了承いたします。』『慣れない土地での勤務になることから、体調管理に留意し、任務を遂行されたい。』との発言があった。

3 報告事項

(1) 警察署協議会の開催状況及びこれまでの委員の提言等に基づく主な取組状況について（令和2年度第3・四半期）

県警察から、警察署協議会の開催状況及びこれまでの委員の提言等に基づく主な取組状況に関する報告があった。

令和2年10月から12月までの間、13警察署において、第3・四半期分の警察署協議会が開催され、「令和3年の警察署の取組重点」、「特殊詐欺被害防止対策」、「クマ対策」、「雪害防止対策」、「冬道の交通安全対策」、「高齢者交通事故抑止対策」などの諮問に対し、協議が行われた。

また、警察署では、警察署協議会委員の提言に基づき、特殊詐欺被害防止対策、飲酒運転防止対策、テロ対策などの各種施策を推進した。

このほかに、警察署の見学、歩行環境シミュレータの体験、航空隊の見学など、新型

コロナウイルス感染防止に十分配慮した上で、各警察署協議会において活動を実施しているとのことであった。

委員から、『警察と住民の大切なパイプ役であることから、さらに活発な活動となるよう支援していただきたい。』との発言があった。

(2) 令和2年中の年次休暇取得状況について

県警察から、令和2年中の年次休暇取得状況に関する報告があった。

令和2年中の、一人当たりの年次休暇取得日数は13.7日で、前年比3日増加した。

各所属に対し計画的な休暇取得を働きかけた結果、前年より取得日数が大幅に増加した。

引き続き、業務の合理化に取り組むとともに、時間単位の休暇取得を促進するなど、休暇を取得しやすい勤務環境の整備に努めるとのことであった。

委員から、『継続的な取組みの効果が表れ良い傾向であることから、引き続き推進されたい。』との発言があった。

(3) 令和2年中の110番通報受理状況について（確定値）

県警察から、令和2年中の110番通報受理状況に関する報告があった。

令和2年中の110番総受理件数は31,175件と、前年より3,386件（9.8%）の減少となっている。

このうち有効な件数は27,386件と、前年より3,220件（10.5%）減少し、いたずら等の非有効件数は3,789件と、前年より166件（4.2%）減少となっている。

110番通報の内容別では、交通事故等が11,973件と最も多く、次いで各種情報が5,547件となっている。

また、有効な110番通報のうち、各種照会、要望・苦情・相談などの緊急性の低い通報が3,933件と、有効件数全体の14.4%を占めているとのことであった。

委員から、『引き続き、緊急を要する事案に対しては適切に対応していただきたい。』との発言があった。